

(8) 環境広場ほっかいどう2023

G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合の開催をきっかけに、一般の市民・道民にも気候変動、エネルギー、環境に関心を持ってもらうとともに、環境関連ビジネスの振興も目的として、展示イベント「環境広場ほっかいどう2023」を開催した。道内外の多くの企業、団体が出展し、たくさんの市民・道民でにぎわった。

日時 令和5年(2023年)4月15日、16日 10時~16時

会場 札幌ドーム(札幌市豊平区羊ヶ丘1番地)

共催 北海道新聞社

出展者数 161団体

来場者数 56,199人



① オープニングセレモニー

開会に先立ち、秋元札幌市長(実行委員会会長)、鈴木北海道知事(実行委員会顧問)のほか、中谷経済産業副大臣、山田環境副大臣、ピーター・タクソ-イェンセン駐日デンマーク王国特命全権大使にご列席いただき、ステージにおいてオープニングセレモニーを行った。



テープカット



秋元札幌市長による開会挨拶



鈴木北海道知事による挨拶



中谷経済産業副大臣による挨拶



山田環境副大臣による挨拶



ピーター・タクソ-イェンセン大使による挨拶

② 脱炭素社会の未来を拓く北海道・札幌宣言

G7気候・エネルギー・環境大臣会合の札幌開催の機会を捉え、北海道と札幌市が脱炭素を通じてエネルギーの地産地消や道内経済の活性化、日本や世界のGXに貢献していくことについて、ステージにおいて「脱炭素社会の未来を拓く北海道・札幌宣言」を発表した。

中谷経済産業副大臣、山田環境副大臣のほか、G7をはじめとする各国関係者から賛同や支持のお言葉をいただいた。



鈴木北海道知事による決意表明



集合写真

脱炭素社会の未来を拓く北海道・札幌宣言 ～脱炭素エネルギー基地を目指して～

世界で産業・社会をクリーンエネルギー中心にする「グリーントランスフォーメーション(GX)」が進められています。

こうした中、北海道では、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャル等を活かした「ゼロカーボン北海道」の取組を、札幌市は、日本の「脱炭素先行地域」として「環境首都・札幌」づくりを進めています。

これらの取組により、北海道全体が環境と経済・社会が好循環する持続可能で活力ある地域となるとともに、脱炭素エネルギー基地として、日本や世界のGXにも貢献することは、北海道の価値と魅力を一層高めるものです。

こうした考えから、G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合の開催にあたり、北海道及び札幌市は、今後、日本政府とも一層緊密に連携しながら、脱炭素社会の未来を拓くため、次のことを宣言します。

- 一、北海道と札幌市は、国内の地域脱炭素のフロントランナーとして、官民一体となって、省エネの促進はもとより、再生可能エネルギーの最大限の導入と地産地消やこれを生み出す生産・研究拠点の国内外からの誘致を積極的に進め、生活の向上や経済の発展につなげます。
- 一、北海道と札幌市は、本道と本州の大消費地を結ぶ海底直流送電インフラの早期整備を促進し、洋上風力をはじめ本道の豊富な再生可能エネルギーを供給するなど、日本全体の再生可能エネルギーの導入推進に貢献します。
- 一、北海道と札幌市は、再生可能エネルギーを活用する半導体やデータセンターなどの産業の振興、蓄電池や水素・アンモニア、CCUS、合成メタン、合成燃料など新しい脱炭素技術の導入や人材育成などに取り組みます。
- 一、北海道と札幌市は、国内外の企業の参画も得て、世界的な環境金融の資金も呼び込みながら、こうしたGX関連事業を推進します。
- 一、北海道と札幌市は、これらを含む様々な取組によって培う知見と経験を国際社会に発信し、世界のGXに貢献します。

2023年4月15日
北海道知事 鈴木 直道
札幌市長 秋元 克広

③ ステージイベント

オープニングセレモニーや北海道・札幌宣言のほか、森崎博之さんによる北海道農業とSDGsのつながりや食と環境の関わりについてのスペシャルトークステージ、高校生や大学生等の若者が、持続可能な社会に向けて企業や自治体等に取り組みを期待する「10のアクション」を発信し、秋元札幌市長や鈴木北海道知事、山田環境副大臣と対話を行った「若者サステナブル共創プロジェクト」など、多彩なステージイベントを行った。



森崎博之さんのスペシャルトークステージ



若者サステナブル共創プロジェクト



高校生チャレンジピッチ



バトントワリング&チアダンス



ジンギスカンのジンくん○×クイズ



エシカルファッションショー

4 環境・SDGsゾーン

話題の「空飛ぶクルマ」や燃料電池バス、有名ハリウッド映画に登場したごみで走るタイムマシンを「リサイクルの象徴」として展示するなど、最新の環境技術や環境に配慮した製品の紹介、環境体験コーナーなど、持続可能な社会の形成につながる情報を発信した。



空飛ぶクルマ (株)SkyDrive)



空飛ぶクルマ (テトラ・アビエーション(株))



デロリアン (株)JEPLAN)



燃料電池バス (トヨタ自動車(株))



若者共創プロジェクト



エコカー試乗会



オリジナルキャンドル作成体験



文明の墓場（富良野自然塾）



札幌市環境局



ゼロカーボン北海道ブース



札幌市青少年科学館



定期航空協会



北海道ガス



ほくでんグループ

⑤ キャリア教育ゾーン

未来を担う子どもたちに向けて、様々な仕事の体験や「はたらくクルマ」の乗車体験など、世の中の仕事に興味を持ってもらったり、キャリア形成に関わる情報を紹介した。



札幌市環境局



北海道警察



北海道新聞社



北海道視能訓練士会



びっくりドンキー/えこりん村



札幌ビューティーアート専門学校

⑥ スポーツゾーン

蓄電池を活用した環境に優しいARスポーツやウィンタースポーツ体験など、親子で楽しめて環境についても触れることができるプログラムやスポーツ体験教室などを実施した。



ウィンタースポーツ体験



ゼロカーボンHADO



北海道コンサドーレ札幌サッカースクール体験



乗馬体験



ドローンサッカー操縦体験



さっぽろっ子「なわとび甲子園」

⑦フードゾーン

G7参加国の代表的なドリンクを提供したほか、極力プラスチックを使わないようにし、紙コップの洗浄回収によりリサイクルを行うなど、環境に配慮しながら北海道らしいフードメニューを販売した。



G7ドリンクコーナー



紙コップの洗浄回収（東罐興業株）



キッチンカーによる販売